

# 分析技術基礎講座 受講生募集！



分析化学基礎講義

※写真は昨年の実習風景です。

企業において、分析化学の知識を必要とされる方などを対象に、基礎的な分析化学の知識や技術を習得することを目的に講座を開催いたします。新入社員の方、分析が必要な部門に新たに配属された方、当センターをご利用される方におすすめの講座です。本年度は下記の2種類の講座を開催します。この機会に是非お申込み下さい。

### ①分析化学基礎コース (令和5年6月1日(木))

分析化学に関わる基礎的な知識やガラス器具、試薬等を学びます。機器分析(ICP-AES, SEM, FT-IR等)の基礎的な理論も学ぶことができ、当センターでどのような分析が出来るかを理解できます。

### ②機器分析基礎コース (令和5年6月2日(金))

当センターで保有する分析機器(FT-IR, 蛍光X線分析装置, ICP-AES等)について実習を中心として原理や操作方法を学び、最適な分析機器の選択ができることを目指します。

※複数コース選択可能です。2日間受講いただければ、成分分析や異物の分析において理論から実務までの一連の流れを学ぶことができます。

## 研修日程

①6月1日(木)

②6月2日(金)

## 研修会場

岩手県南技術研究センター

## 講師

岩手県南技術研究センター技師

## 募集人員

各8名程度

## 受講料

各講座2,000円 (※受講の際にご持参下さい)

低真空対応走査型電子顕微鏡 (SEM-EDX) の実習

## 研修内容

①～②各講座の選択制になります。(複数選択可)



コース名	日程	研修時間	種別	内容
①分析化学基礎コース	6/1 (木)	13:30～16:30	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析化学で用いられるガラス器具や試薬について</li> <li>機器分析の基礎(ICP-AES、SEM、FT-IR)</li> </ul>
②機器分析基礎コース	6/2 (金)	13:30～16:30	講義 実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>分析機器の概要、県南技研の分析機器の見学(Lab tour)</li> <li>蛍光X線分析装置、ICP-AESなどによる元素の定性定量分析</li> <li>FT-IR(フーリエ変換赤外分光光度計)による有機物の定性分析</li> </ul>

## 申込期限

令和5年5月26日(金) ※先着順で、定員に成り次第締め切ります。

## 申込方法

裏面の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、ファックスにて下記へお申し込みください。当センターホームページからも「受講申込書」はダウンロードできます。

## 申込先・問合せ先

(公財) 岩手県南技術研究センター 担当: 今井

〒021-0902 一関市萩荘字高梨南方114番地1

電話: 0191-24-4688 FAX: 0191-24-4689

E-mail: imaik@sirc.or.jp URL <http://www.sirc.or.jp>

# 分析技術基礎講座 受講申込書

令和 年 月 日

次のことに同意し、下表のとおり受講を申し込みます。

- 受講に関する連絡等に使用します。
- この情報は目的以外に使用することはありません。
- 収集したデータ処理などのため外部に委託することはありません。

<b>受講希望講座</b> <input type="checkbox"/> にレ印を付けてください。 ※選択制 ・ 複数選択可		<input type="checkbox"/> ①6/1 (木) 【分析化学基礎コース】 <input type="checkbox"/> ②6/2 (金) 【機器分析基礎コース】	
氏名(ふりがな)			
年齢	性別 (どちらかに○)	歳	男 ・ 女
所属企業			
所属部署・役職			
所在地			
電話番号			
ファックス番号			
メールアドレス ※事務連絡致しますので、ご記入願います			<input type="checkbox"/> 県南技研の人材育成事業の お知らせメールが不要
職務経歴		分析化学に関する業務歴を教えてください。 (経験がある場合は、経験年数と業務の内容を教えてください)  経験 なし あり ⇒ 経験年数 年 業務の内容( )	
※今回の分析技術基礎講座で学びたいことがありましたらご記入ください。			

●この人材育成事業は一関市ものづくり人材育成事業の補助金を活用し実施するものです。

※受講料(2,000円)は、受講日にご持参ください。

(公財)岩手県南技術研究センターは、地域企業の  
「ものづくり」・「技術開発」・「共同研究」を応援します。